

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社に十分なスペースの体育館と遊戯室があり、グループに分かれて活動できるよう、利用人数や活動内容に合わせて適切な場所を選択しています。</li> <li>・地域の施設（体育館など）を使用する際も、人数や子どもの特性に応じて利用するスペースを区切るなど、工夫しています。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は必ず3人以上、配置をしています。また、内容や利用人数に応じて外部講師やサポータースタッフを多めに配置するなどしています。</li> <li>・急な職員の休業や、サポータースタッフが集まらない等、一般的に発生するスタッフ不足は、職員が時間外勤務でできるだけ対応するようにしています。何かあったときに余裕を持って対応できるよう、職員を増やすなど改善できる点はあると考えています。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身障者トイレ（バリアフリートイレ）及び駐車場を完備しています。</li> <li>・誰もが見てわかるよう、体育館に上がる廊下を色分けしているなど、視覚支援も取り入れています。また、小部屋をいくつか用意しており、子どもたちがクールダウンできるスペースを確保しています。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの情報共有や振り返りに事業所の全職員が参画しています。今後も子どもたちの様子を丁寧に共有できるよう、より良いミーティングを開催できるよう調整をしています。</li> <li>・振り返りは、トラブル時や今後の方針について必要な時に行っています。</li> <li>・事業所内でMVVを作成しています。それに伴い、行動計画を作成し、実践→振り返りを行うようにしています。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、保護者様方の貴重なご意見をいただき、日々の活動内容にも反映させています。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、ホームページ上で公開しています。</li> </ul>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は定期的に行うことはできていませんが、外部講師や見学に来た相談員さんに活動内容などについて、ご意見をいただくようにしています。</li> </ul>
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のお知らせはその都度回覧するようにしています。</li> <li>・日常業務もあり、参加が難しい場合も多いですが、必要性のあるもの・興味があるものについては勤務を調整し、参加するようにしています。</li> </ul>	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの情報をスタッフ間で共有し、それぞれの意見を取り入れるようにしています。</li> <li>・モニタリングにて保護者の皆様のニーズを聞くだけでなく、子ども本人の気持ちなどを確認し、計画に反映するようにしています。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、標準化されたアセスメントツールを用いる場面は少ないですが、モニタリング議事録等のフォーマットを改善するなどして、事業所内で職員が共通で使用することのできるアセスメントツールの作成に取り組んでいます。</li> </ul>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、職員で話し合いを行い、プログラムを作成しています。同じプログラムでも、その都度目的を設定するようにしています。また、運動プログラムだけではなく、季節行事や生活スキルにつながるプログラムも取り入れています。</li> <li>・学校体育で取り組んでいる運動を聞き、プログラムに取り入れています。</li> <li>・子どもたちが自分で考え、決める力をつけていけるよう、あえてプログラムを決めず、当日みんなで話し合い、決める日を設けるようにしています。</li> </ul>

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいプログラムをいられるよう、子供の意見を聞き取り入れています。</li> <li>・活動場所の兼ね合いで、同じプログラムが続く場合もあるように感じているため、今後は新たな活動場所も検討し、改善するよう努めてまいります。</li> </ul>	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時間の兼ね合いもあり、平日は活動時間が限られることが多いですが、短い時間の中でも子どもたちを楽しんでもらえるよう、プログラムやグループ分けなどを工夫しています。</li> <li>・休日や長期休みに、普段はなかなか挑戦することのできない活動や社会体験など取り入れています。今後も、子どもたちや保護者の皆様のご意見を取り入れながら、ニーズに応じたプログラム（課題）を設定できるよう試行錯誤してまいります。</li> </ul>	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では集団活動への参加が難しかったり、友達との関係が上手くいかず、しんどい思いをしている子どもたちが多いです。そのため、Uプロセスでは「友達と楽しむ経験」を積むことができるよう、チームスポーツなどを積極的に取り入れています。</li> <li>・集団での参加が難しい子どもに対しては、個別で活動する時間を設定し、取り組みやすいプログラムを提供しています。また、普段は集団活動へ参加している子どもでも、その日の様子も鑑みて個別活動を取り入れるようにしています。</li> </ul>	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイを行う前には必ずミーティングを行い、送迎から活動までの流れを確認しています。また、その日利用する子どもについて情報共有を行い、どのように役割を分担するか話し合いをしています。その時々状況により、どのような役割分担が適切なかの、判断する力をよりつけていきたいと考えています。</li> </ul>	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイ終了後、当日の振り返りは勤務時間の関係により難しいですが、急を要する内容についてはすぐに共有し、対応するようにしています。翌日、よかった点や気になった点があれば、振り返りを行っています。今後、振り返りの内容をより良いものにするためのミーティングを定期的に開催できるよう検討しています。</li> </ul>	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録はなるべく早く記入するよう心がけていますが、他業務との兼ね合いで即時に記録が取れていない現状があります。記録を分担性にするなど、職員間で協力し、工夫していますが、より正しく記録をとることができるよう、記録のフォーマットを変更するなど、検討していきます。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回、必ずモニタリングを行い、保護者の方と情報共有し、新しい計画を作成しています。利用期間が長くなり、支援目標が曖昧になってしまうという課題が見られるため、しっかりアセスメントを行い、具体的な計画を作成していきたいと考えています。</li> </ul>	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自分らしく過ごし、楽しみながらできることができるようプログラムや環境を工夫しています。運動プログラムを中心に、さらに子どもたちの自立に向けたプログラムや地域との交流ができるプログラムも積極的に取り入れるようにしています。</li> </ul>	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者だけでなく、事業所に配置しているソーシャルワーカーが参加するようにしています。子どもとの関係性や関わりの深い職員が出席できるよう、工夫しています。</li> </ul>
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に学校での様子を確認するなど、コミュニケーションを積極的に取るようにしています。学校によっては連携が取りづらいところもありますが、必要なときには情報を共有するよう心がけています。</li> </ul>	
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っておりませんが、アレルギーやてんかん発作のリスクがある子どもについては保護者の方と対応を共有しています。主治医との連絡体制は構築できていないため、状況に応じて、しっかり連携していきたいと考えています。</li> </ul>	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年生から利用する子どもがいないため、就学前の状況については保護者の方から情報を教えていただいています。現在通っている学校を見学に行くなど、必要な情報共有は行うようにしています。</li> </ul>	
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、卒業する子どもの情報を提供する機会は少ないですが、相談支援専門員さんとも連携しながら、積極的に情報を共有していきたいと考えています。</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	・研修などは受講する機会が少ないですが、子どもの支援において連携し、助言をいただくようにしています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	・地域の公園などで活動することで、地域の子どもと交流する様子が見られることがあります。 ・バドミントン大会やイベントにて健常児と交流する場を設けていますが、まだまだ機会が少ないと課題を感じております。今後、地域との子どもと交流する機会を設けたいと考えています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		1	3	・参加する時間がなかなか取れていないのが現状です。 ・もう少し情報収集が必要だと感じています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		1	・活動中、安全管理の観点から、連絡帳への記入が難しい場合が多くなっています。そのため、送迎時にその日の活動の様子や子どもができたことを伝えるよう努めています。また、LINEを活用して子どもの活動の様子を画像や動画で共有するようにしていますが、まだ十分ではない部分もあるため、今後はより丁寧に子どもの様子について共有していきたいと考えています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	・ペアレントトレーニングのような専門的な方法は取れていませんが、事業所内で実践している支援や子どもとのコミュニケーション方法、ストレスの発散方法などを提案するなどしています。また、保護者の方からもご家庭で実践している方法を教えていただくなど、子どもにとってより良い方法を相談し合うようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		1	・利用を開始される際には、活動の見学～契約まで丁寧に説明するようにしています。契約書や重要事項説明書に加え、利用者負担額等の一覧を一緒に確認しています。契約時のみの説明となっているため、定期的に説明することも大切だと感じています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		1	・定期的なモニタリングだけではなく、子どもの様子を共有し合いながら、必要に応じて、保護者の方と面談をするなどしています。 ・子どもたちの抱えるしんどさには複雑な背景もあり、職員の力不足を実感することもあります。引き続き、知識を身につけていけるよう、職員一同努めていきたいと考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		3	・パパプロ&ママプロイベントなど、保護者の方の交流を目的としたイベントを開催しておりますが、保護者同士でゆっくりお話ができる機会は少ないように感じます。保護者の方からも要望があるため、行うことができるよう検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・子どもや保護者から苦情や相談があった場合には、速やかに対応するようにしています。事案に応じて、事業所を問わず、法人内で情報を共有し、解決できるよう職員間で話し合いを行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		1	・毎月、利用者には予定表を配布しています。 ・会報は年に1回発行しています。定期的にブログにて日々の活動について情報を発信するようにしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			・個人ファイルは鍵のかかる部屋で保管しています。事務所内に職員以外の人がいる場合には、別室にて情報を共有しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			・視覚化などの支援や見通しが立てられるようにできるだけ活動の予定を先に伝えるようにしています。 ・言葉だけのやりとりではなく、ジェスチャーや表情も大切に、感情や思いを伝えるようにしています。 ・子どもに合わせた視覚支援を行うようにしています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		3	・定期的に行うことはできていませんが、今年度初めて地域の高齢者サークルと一緒にポッチャ交流会や交通公園の園長先生を招いた交流会の開催を予定しています。今後、さらに交流を広めることができるように検討していきたいと考えています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのマニュアルは策定し、すぐに情報を共有できる場所にて保管しています。保護者の方にも確認していただけるよう、事務所の入り口に置いていますが、皆様への周知には課題を感じています。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Uプロジェクトの施設だけではなく、利用する活動場所などでも避難訓練を行っています。年に4回以上、行うようにしています。</li> <li>・避難訓練が苦手な子どももあり、配慮しながらの開催となっておりますが、より現実的な訓練も必要だと考えています。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会を設置しています。十分な研修機会の確保は行えていませんが、担当者が研修へ参加し、重要なポイントを職員間で共有するようにしています。</li> <li>・来年度はしっかりと研修を行うことができるよう、体制づくりに務めてまいります。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会と一緒に対応について検討しています。どのようなケースが身体拘束にあたるのか、研修で学んだ情報をもとに職員間で検討しています。また、そのようなケースがあれば、しっかりと記録に残し、情報共有を行ってまいります。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を伴う活動を行う際は、保護者に食物アレルギーの有無を確認していますが、医師からの指示書をもらうことはできていません。その分、保護者の方と丁寧に情報を共有し、対応できるようにしています。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、アクシデント、事故報告書は速やかに作成し、法人間で共有するようにしています。日々の活動が安全に活動できるよう、より一層職員の意識を高めていく必要があると考えています。</li> </ul>